

水と緑のネットワーク まちづくりシンポジウムin新津

ご参加ください— *

7月9日午後1時20分から
▶市民会館大ホール（入場無料）

基調講演

「水と緑のネットワークによる
魅力あるまちづくり」

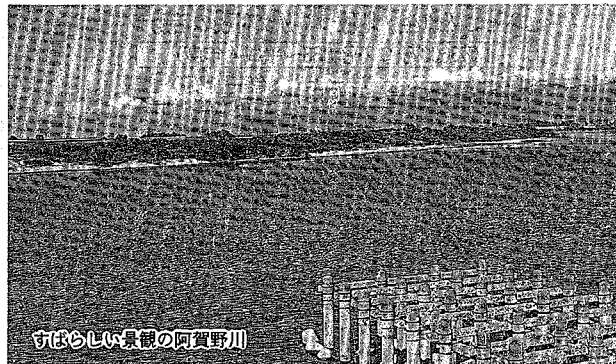


新津市の「いま」を広い
空間と時間の中でとらえ、
生かすには……。
●横山 正氏
（東京大学教授）

パネルディスカッション

地方における都市の魅力とは何か？ 水と緑の
ネットワークづくりの上での、市民と行政の役割
を考える。

大熊 孝氏（新潟大学教授）
武田 則明氏（建築家）
原 敏明氏（新潟経済社会リサーチセンター理事）
中矢 澄子氏（フラワーデザイナー）
横山 正氏（東京大学教授）
小山 一三氏（新津市長）
小崎 弘一氏（アーバンプランニング社長）



すばらしい景観の阿賀野川

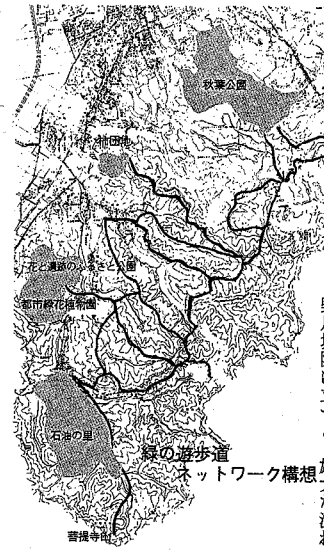


「鮭カムバック運動」として新津川に鮭の稚魚を放流する小学生。
子どもたちの熱い願いが市民を変え、まちを変えていくのです。

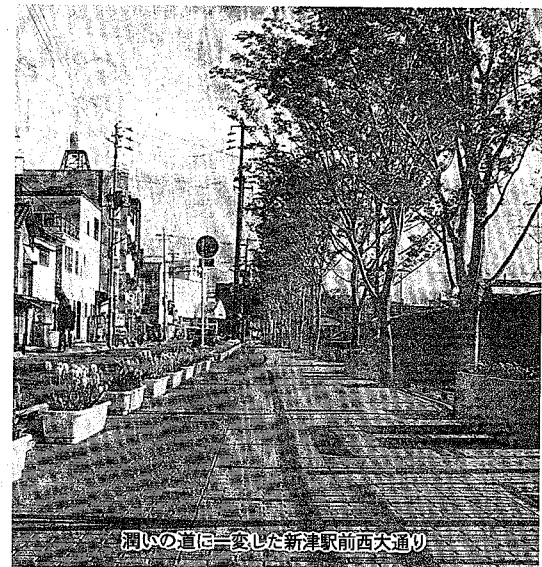
水空間も大切な 生活の場

したまちづくり、さらにこれに
加えて人の交流が盛んになるま
ちづくりを目指し、市全域を網
羅した「水と緑のネットワーク」
を構想しています。

河川に目を向けてみると、市
内には一級河川の信濃川、阿賀
野川、能代川、新津川のほか、
多くの中小水路が走っています
が、今まで防災上の観点だけで
なかなか安らぎのある環境整備
まで至らなかったのが現状でし
た。しかし、今日的傾向として、
潤いに配慮した河川整備が全国
的に浸透しはじめたことによ
り、信濃川では親水レクリエー



緑の遊歩道
ネットワーク構想



潤いの道に変わった新津駅前西大通り

魅力あるまちを決定づけるのは 市民の持つ活力です。

温かい人情を育んだ 豊かな自然環境

昭和二十六年、新津市は新潟
県で七番目の市として誕生しま
した。この時の人口は三万七千
三百七十人。その後合併なども
あり徐々に増え、現在六万六千
の市民が住んでいます。市民の
みならず新津を知る人がこの街
を語るとき、十中八九、自然が
豊かであることを挙げます。市
域の東西を清流・阿賀野川と日
本の母なる川・信濃川という二
大川に囲まれ、さらに南から
は緑の秋葉丘陵がせりだしてい
る地形は、四季を通じてシンボ
リックな豊かな表情を私たちに
見せてくれます。街を背に阿賀
野川堤防に立つと、雄大な流れ

とともに遠く飯豊をはじめとし
た山々の稜線が目に入り、見る
者に安らぎを与えます。この川
面に朝日が映えるころ、市街地
に近い秋葉公園には散策を楽し
む老若男女の姿がみられます。
自然と生活が一体になっている
感じがします。この豊かな水城
と緑の丘陵地が新津市民の温か
い人情を育んできたといえるの
かもしれません。

自然との共存に配慮 した公共空間の活用

今日都市化が進み、地域は変
わりつつあります。「情報化社
会」「高齢化社会」といわれる
中で、時代のニーズとして、自
然とのより良い共存関係といろ
んな機能を合わせ持った都市像
が求められています。新津市像
にとって、自然こそ市民共有の財
産であって、二十一世紀に向け
ての限らない潜在的活力である
ことを市民みんなが再確認して
おかねばなりません。

このように自然に恵まれた新
津市では、自然を破壊すること
なく、河川や丘陵地などの公共
空間を十分活用し、景観に配慮

緑の遊歩道を「文化 の道、健康の道」に

緑のシンボルである丘陵地に
も目を向けてみましょう。市で
は現在、たくさんの人々の憩いの
場である秋葉公園を中心に整備
を進めています。その南側、蒲
ヶ沢地内においては花と遺跡の
ふるさと公園と一体となった県
営都市緑花植物園が建設される
ことになっています。石油の里
を含めてこれらを全部「緑の遊
歩道」で結ぶネットワーク事業
が次のページへ

— お買物、ご用命は市内で —

— お買物、ご用命は市内で —

肌 着・化粧品

資生堂チェーンストア

本町2丁目 マツヤ (22)0418 (23)0630
フリーダイヤル 0120-130630
第四銀行が向かい。北越銀行がとなり。

内科・小児科・レントゲン科

大坂医院

新町1丁目6-12 TEL(24)5122

'93

シャワーセール実施中!!

今までとは違う ガス給湯器

今なら

期間/5月1日→7月31日まで

2割引+(電気温水器/石油ボイラー)下取り実施中!!

1. たっぷりのお湯で2ヶ所同時OK/
2. 断続使用でも、温度変化なし!

越後天然ガス(株) 新津(24)2171・荻川(25)2100